

エコハウス暮らし方交流会

太陽光発電所ネットワークでは、毎年11月、太陽光発電の設置者、自然エネルギーの利用や環境問題に関心を寄せるの方々のための講演会、ワークショップ、セミナー形式の交流会を開いて来ました。

5回目を迎える、2011年は巨大震災と原発事故にみまわれ、エネルギーの有り様と一人一人の生活の関わりを考えることになりました。

日時 2011年11月19日(土)
受付：9時45分 開始：10時00分(終了15時ころ)

場所 名古屋市公会堂第4集会室(3F)
最寄り駅○中央本線 鶴舞下車 公園口 徒歩2分
市営地下鉄鶴舞線 鶴舞 4番出口 徒歩2分

プログラム

午前中 1、華原の会(生け花の会)の紹介とワークショップ
10:00 2、中津川自然エネルギーの会における
~12:00 小型水力発電機の導入と現状
3、1枚の太陽光パネルの利用から見えた暮らし
昼休み 12:00-12:30
アコースティックギター演奏 2:30-13:00
(グリーン電力証書を活用するアーティスト)

午後から 1枚のパネルを暮らしに取り入れた方々の報告
13:00 スイッチイッグ・インバータの特長
~15:00 技術交流(質疑)

参加費 無料

主催●NPO 法人太陽光発電所ネットワーク 中部地域交流会

お問合せ／お申し込み／連絡は、 ☎466-0848 名古屋市昭和区長戸町 2-16-3 MASA ビル 2F tel 052-842-1929 mail: pv-green_chubu@hotmail.co.jp

確かな未来は懐かしい過去にある

あの日、3.11、自然は、私たちに、何を語りかけたのだろうか…。
まちの仲間とお祈りをし、チャリティーバザーも開催した。
被災者・被災者家族も受け入れてきた。
「地震」、「津波」、「原発」、これまで関心もなかった書物も何冊か読んだ。

わかったことがひとつあった。
私たちに恵みをもたらす自然と禍をもたらす自然、
その自然はひとつ、だった。

私たちは、生きていくに必要な食糧やエネルギーを、
巨大なシステムに依存してしか生きていけない。
それは、あたかも自然を人間がコントロールできるかのように、
ますます巨大化していく。
こともあろうにマグニチュード9.0の地震、津波、原発事故で、
巨大化の象徴・原発に、自分の身を委ねていたことを知る。
スイッチを押せば「電気がつく」暮らしの日々は、
巨大システムを支えていた日々でもあった。

自然は
一枚の太陽光パネルで暮らしを見直せ！
電力に頼らない生活を楽しめ！
人間の制御しうる社会を！
等身大の関係が主導権を握れるような社会の再創造を！
それが将来世代への責任の取り方！
一つひとつ具体化せよ！積み上げよ！懐かしい未来を夢見て。
そう語っているように私たちは思う……。